# 徳島県森林・林業施策の推進について (令和6年度~令和10年度)

令和6年4月 徳島県

# ○はじめに

徳島県は県土の約76%を森林が占め、そのうちスギ・ヒノキなどの人工林の割合は約6割を占めています。スギに限れば、主伐可能な林分が7割を超えており、全国よりもいち早く本格的な伐採期を迎えています。

森林は、「水源のかん養」や「山地災害の防止」などの様々な公益的機能を有しており、あわせて「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けても、大きな役割を担っています。また、何より、本県が持つ有益な資源であり、林業・木材産業の源として本県経済を支えています。

この豊かな森林を次世代に引き継ぐためには、担い手の確保や木材価格の適正 化など複数の課題を解決し、「伐って・使って・植えて・育てる」森林サイクルを確立 するとともに、森林の持つ様々な機能の維持・保全を図っていく必要があります。

このため、県政運営の新たな指針として策定された「徳島新未来創生総合計画」に掲げている森林・林業分野の施策をより具体的に推進していくことを目的とし、本方針を策定するものです。









#### 第1

#### 1 目指すべき将来の姿

◆ 森林を適正に管理し、林業・木材産業の持続的かつ健全な発展による、 2050カーボンニュートラルに資する豊かな社会の実現

#### 2 対象期間

◆ 令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)までの5年間

#### 3 施策の体系

#### 1 多様な人材の育成・確保

- ① 事業体の育成・強化
- ② 林業従事者の育成・確保
- ③ 新規就業者の定着率向上
- ④ 技術力の向上

#### 【成果指標 2028年度】

〇新規就業者数 (累計)

200人

○林業プロフェッショナル数(累計)

200人

### 2 森林の価値を高めるDX・GXの推進

- ① 航空レーザ測量の活用
- ② 基盤整備による増産体制の強化
- ③ 新たな作業システムの研究・構築
- ④ 低コスト再造林の推進とエリートツリーの増産

# 【成果指標 2028年度】

○県産材の生産量

60.0万㎡

〇エリートツリーの植栽割合

65.0%

### 3 成熟した資源の利用

- ① 加工流通体制の整備
- ② 川中・川下人材の育成
- ③ 製材所の連携強化と需要拡大
- ④ 非住宅や公共建築物の木造・木質化
- ⑤ 木育の展開

#### 【成果指標 2028年度】

○県内における原木消費量

718<del>T</del>m

○県産材の海外輸出額

400百万円

#### 4 多様な主体による森林の保全・管理

- ① Jクレジットによる脱炭素社会の実現
- ② 奥地森林の保全・整備
- ③ 治山施設の整備推進
- ④ 企業との協働による森づくり
- ⑤ 保安林等の指定

# 【成果指標 2028年度】

〇Jクレジットの販売量

2,000t

〇保安林指定面積(累計)

100,100ha

## 第2 重点施策

1 多様な人材の育成・確保

#### 【目指すべき将来の姿】

◇ 木材生産や植林等が活発になり、その担い手となる「林業従事者」が活き活きと働くとともに、新たな「事業体」の起業や他産業からの参入等が進み、林業が魅力ある職業となっています。

#### 【課題と現状分析】

- ◇ 新たな担い手の受け皿となる事業体の重要度が増す中、起業や他産業からの参入にきめ細やかに対応できる支援体制の確立が求められています。
- ◇ 木材生産や植林等の拡大に伴い林業従事者の確保が急務となる中、就業や多様な担い手の 育成・確保に対する支援が求められています。
- ◇ 就業間もない従事者の離職の防止に向け、悩みの相談や労働環境の改善など、定着に繋がる取組が求められています。
- ◇ 森林資源の充実が進み主伐が主流となる中、大径木の伐採や架線集材など、より高度な技術を有する林業従事者が求められています。

# 【施策の具体的な取組】

① 事業体の育成・強化

起業や他産業からの参入に向けた情報提供を行うほか、事業体運営に係る課題の解決に対応するサポート体制を構築するなど、新たな事業体の育成や、体質の強化を支援します。

② 林業従事者の育成・確保

林業の即戦力確保として、「とくしま林業アカデミー」などによる新規就業者の育成を図るほか、繁忙期の異なる産業間や地域間の連携調整による多様な担い手の確保を支援します。

③ 新規就業者の定着率向上

アンケート調査や外部相談員によるメンターサポートの実施など、働きやすい職場環境づ くりに向けた取組を行います。

④ 技術力の向上

就業者の習熟度に応じた「国内外研修」や「安全技能研修」など、時代に適合したカリキュラムの導入によるスキルアップ研修を実施し、「プロフェッショナル人材」を育成します。

#### 【成果指標】

〇新規就業者数 (累計)

2022年度実績 42人

2028年度目標

200人

資料:R5みどりの要覧

○林業プロフェッショナル数(累計)

2022年度実績

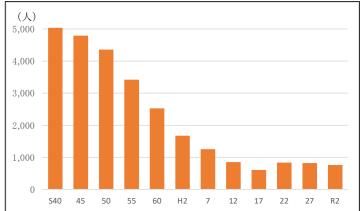
一人

2028年度目標

200人

資料:徳島県調べ

#### 【林業従事者数の推移(国勢調査)】







#### 【新規就業者数の推移】





とくしま林業アカデミーによる人材育成



林業人材DXセンターにおける技術習得訓練



林業就業希望者を対象とした説明会の開催



VRを活用した労働安全研修

# 【目指すべき将来の姿】

◇ 木材生産に適した森林において循環利用が確立され、地域を支える産業として林業が持続 的かつ健全に発展しています。

#### 【課題と現状分析】

- ◇ 木材需要の高まりにより主伐が拡大する中、経済林においても伐採後の再造林が行われない状況が発生しており、林業DXによるコスト縮減が求められています。
- ◇ 計画的な木材生産を実現するため、林道・作業道の整備の推進や、生産性の高い林業機械の導入が求められています。
- ◇ 林業労働力不足が懸念される中、先端技術の導入・活用による生産性・安全性の向上が求められています。
- ◇ 森林サイクルの確立による林業の持続性確保と花粉症発生源対策への対応が求められる中、利用期を迎えた人工林の「伐採」と「再生」を推し進めることが求められています。

### 【施策の具体的な取組】

① 航空レーザ測量の活用

航空レーザ測量による森林資源データの調査・解析を推進し、森林の現況や地形・傾斜情報を「見える化」することで、施業の集約化や境界確認の省力化を進め、収益性の高い林業経営に繋げます。

② 基盤整備による増産体制の強化

主伐を中心とする木材生産を踏まえ、林道と作業道などを適切に組み合わせた路網整備や先進的な林業機械の導入など、増産に対応できる基盤整備を支援します。

③ 新たな作業システムの研究・構築

ICT等の活用による資源管理・生産管理を行うスマート林業や、先端技術を活用した林業機械の自動化・遠隔操作化など、新たな技術の開発やシステム構築を進めます。

④ 低コスト再造林の推進とエリートツリーの増産

伐採から植栽までを一体的に行う一貫作業システムや低密度植栽などの推進により再造林 コストの低減を図るとともに、花粉が少なく成長が早い「エリートツリー」の植栽を進め ます。

#### 【成果指標】

○県産材の生産量

2022年度実績

41.8万㎡

2028年度目標

60.0万㎡

資料:R5みどりの要覧

〇エリートツリーの植栽割合

2022年度実績

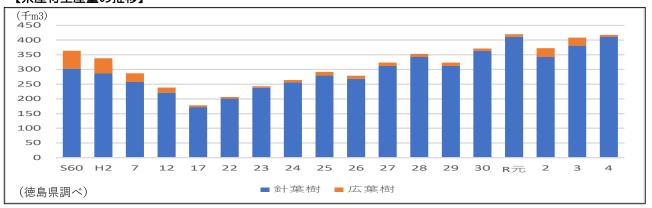
11.5%

2028年度目標

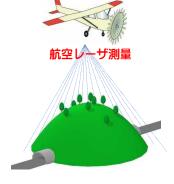
65.0%

資料:徳島県調べ

### 【県産材生産量の推移】

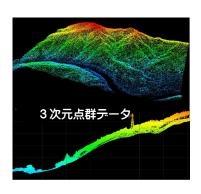


#### 【航空レーザ測量の活用】



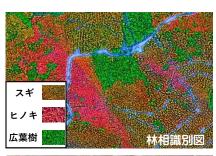
目的:森林資源の解析 (4点/㎡)

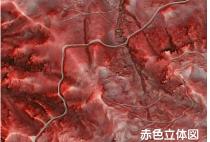
用途:樹種、本数、樹高、 材積等の推計等



3次元点群データ:

3次元測量によって得られた3次元座標を持った点データの集合。高密度で集合することで、細かな色や質感を再現。







林道・作業道の組み合わせによる路網整備の推進



新たな技術の開発やシステム構築の推進



基盤整備による増産体制の強化



エリートツリーの生産体制の整備

### 【目指すべき将来の姿】

◇ 県内においてもビルや店舗などの木造・木質化が進み、生活の隅々まで木材が取り入れら れるなど、森林や木材の恩恵が再認識され、木材の再生産に繋がる適正な価格で取引が行 われています。

# 【課題と現状分析】

- ◇ 木材価格の低迷により、森林所有者の経営意欲が減退していることから、山元が再生産可 能な収益が得られるよう、増加している大径材の価値を高める取り組みが急務になってい ます。
- ◇ 少子高齢化により、低層の住宅などの木材需要が減少する中、まだ利用が少ない新たな分 野や外材の代替部分に、県産材の活用を図る必要があります。
- ◇ 今後、森林資源はより一層充実することから、東南アジアなど今後木材需要の増加が見込 まれる海外に向けた販路拡大が必要になっています。
- ◇ カーボンニュートラルに資する森林資源の循環利用を進めるため、林業・木材産業への理 解を醸成し、木材の率先利用に繋げる取り組みが求められています。

# 【施策の具体的な取組】

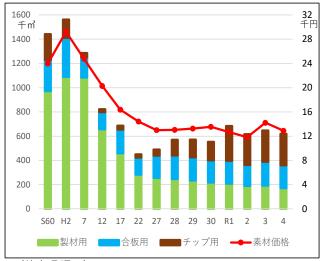
① 加工流通体制の整備

大径材に対応する加工流通体制の整備を進め、県産材を活用した新製品や寸法安定性が高 い人工乾燥材により、木材の付加価値を高めます。

- ② 川中・川下人材の育成
  - 地域を支える中規模製材工場の維持に向けた体質強化や担い手の確保、需要者を木造・木 質化に導く木材利用に秀でた人材を育成します。
- ③ 製材所の連携強化と需要拡大
  - 地域の製材所と大規模製材工場が連携することによる製品開発や販路開拓、需要者のニー ズを捉えた徳島すぎのPRによる県外海外への需要拡大を図ります。
- ④ 非住宅や公共建築物の木造・木質化
  - 市町村や木材・建築関係団体と連携し、これまで利用が少なかった分野での利用が図られ るよう、県産材製品の情報発信や先進的な建築物の事例紹介など、普及啓発に務めます。
- ⑤ 木育の展開
  - 個人をはじめ企業のCSR活動などにより、「徳島木のおもちゃ美術館」を核とした幅広 い木育活動を展開し、木材利用の輪を広げます。

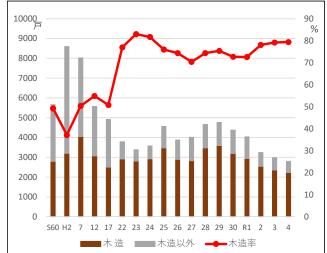
【成果指標】		
○県内における原木消費量		
2022年度実績 621千㎡ 資料:R5みどりの要覧	▶▶ 2028年度目 718千㎡	標
○県産材の海外輸出額		
2022年度実績 350百万円 資料:徳島県調べ	▶▶ 2028年度目 400百万円	

#### 【木材需要と素材価格の推移(県内)】



(徳島県調べ)

## 【新設住宅建築着工数と木造率の推移(県内)】



(国土交通省調べ)

# 【川中対策】



最新鋭製材機械の導入(チッパーキャンター)



製材事業者向け技術研修会の開催

#### 【川下対策】



公共建築物等の木造化(あらわし木造4階建て県営住宅)



木育の推進(徳島木のおもちゃ美術館)



とくしま木造建築学校公式HP



とくしま木づかい県民会議





### 【目指すべき将来の姿】

◇ 県民や企業等多様な主体によって適切に管理され、管理不十分な森林が解消されていま す。また、保安林制度の活用や公的主体による管理によって、2050年のカーボンニュー トラルが実現し、豊かな森林が次世代に引き継がれています。

### 【課題と現状分析】

- ◇ 政府が示した「GX実現に向けた基本方針」を受け、東京証券取引所が「カーボンオフ セット市場」を新たに設けるなど、Jクレジットの販売拡大に向けた動きがみられます。
- ◇ 木材価格の低迷と人件費の上昇に伴い、奥地森林の手入れ不足が顕著となっていることに 加え、気候変動に伴う大雨の激化・頻発化による山地災害の激甚化が懸念されています。
- ◇ 企業・団体において、地球温暖化防止やSDGsの目標達成に向けた「森林保全の取り組 み」などが広がりつつあり、県自らこの流れを先導するとともに、一層の拡大につながる 支援が求められています。
- ◇ 無秩序な森林の伐採や開発行為によって森林が適正に管理されず、森林が持つ「水源のか ん養」や「土砂流出防備」などの公益的機能の低下を招く恐れがあります。

#### 【施策の具体的な取組】

① Jクレジットによる脱炭素社会の実現

東京証券取引所の「カーボンオフセット市場」開設を受け、適切に整備された県や林業事 業体の森林においてJクレジットを創出し、民間企業のカーボンオフセットの取組に繋げ ます。

② 奥地森林の保全・整備

経営に適さない森林において、公的主体による実施体制を構築するとともに、森林環境譲 与税を活用した森林整備や公有林化等を促進し、多様な森林へと誘導します。

③ 治山施設の整備推進

森林の県土保全機能を更に高度に発揮させるとともに、地域の安全・安心を確保するた め、災害発生リスクがより高い箇所への治山施設の効果的な整備を推進します。

④ 企業との協働による森づくり

高い環境貢献意識を持って地球温暖化防止に取り組む企業や団体との協定を拡大し、県内 の未整備森林の整備を協働して進めます。

⑤ 保安林等の指定

「保安林」や「第1種森林管理重点地域(とくしま県版保安林)」の指定を計画的に進 め、適正な管理により森林の公益的機能を高めていきます。

【成果指標】	
〇Jクレジットの販売量	
2022年度実績	▶▶ 2028年度目標
253t	2,000t
資料:徳島県調べ	
○保安林指定面積(累計)	
2022年度実績	2028年度目標
98,900ha	100,100ha
資料:徳島県調べ	

### 【Jクレジット】



資金 → ← クレジット



#### 【奥地森林の保全・整備】



針広混交林への誘導



保安林の指定

# 【治山施設の整備】



治山施設と植栽による荒廃渓流の復旧



景観に配慮した施設の整備

#### 【企業との連携による森づくり活動】



参加者家族による植樹の実施



間伐作業の実施